

教科または領域	算数
対象学年	小学校4年生
授業場所	教室
単元	角の大きさの表し方を調べよう
単元の目標	◎角の大きさを回転量として理解し、角度を測定したり、角をかいたりする能力を伸ばす。 ・分度器を用いた角度のはかり方、角のかき方を理解する。
単元の指導計画	第1次 角の大きさ ・角の大きさについて理解する。 ・角度の単位「度」を理解する。 ・分度器を用い角度のはかり方を理解する。(本時) ・ 180° より大きい角度のはかり方を理解する。 ・三角定規を構成している角の大きさを理解する。 ・分度器を用いた角のかき方を理解する。 ・分度器を活用した三角形の作図のしかたを理解する。 第2次 まとめ ・身の回りにあるいろいろなものの角度をはかる。
本時のねらい	分度器を用いた角度のはかり方を理解する。
指導計画	導入 (1) 本時の課題をつかむ。 1. 前時の学習(分度器や角度)を振り返る。 ・直角の角度や 1° について思い出させる。 2. 本時の課題(45°)を提示し分度器を用いて角度をはかることを知らせる。 「分度器を使って角度をはかりましょう。」
	展開 (2) 角度の測り方を発表する。 1. 分度器を使って角度をはかる方法を考える。 「分度器で角度をはかるにはどのような方法でやればよいでしょうか。」 ・どのようにすればはかり、簡単にできるかを考えさせる。 2. 自分の考えを発表する。 ・中心を頂点に合わせる。 ・ 0° の線を辺に合わせる。 ・分度器の大きさが違ってはかることができる。 (3) はかり方について、コンテンツを利用して、確認する。
	まとめ (4) 180° までのいろいろな角度をはかる。 1. 角度をはかる。 ・辺の長さをのばしたり、逆からはかったりする角を分度器を使ってはかる。
その他	角度の大きさは児童にとってなじみのないものであり、感覚的に理解することが難しい。また、分度器を使用するのも初めてであるので、黒板で指導するだけでは細かい部分まで分りにくいことがある。そこで、動きのあるデジタルコンテンツを使い角の大きさや分度器の使い方を学習することにより、角のはかり方について理解が深まり、角の大きさについて興味や関心も増すのではないかと考える。 利用したコンテンツ http://www.kobe-c.ed.jp/digicont/sansu/MC020004b/index.html